

	組みを知り、創造性を見てとるリテラシー、いわば眼や耳の使い方を身につける。
先修条件	
実務経験	実務経験あり：企業や行政のために企画・調査を行うシンクタンクの客員研究員を経験。実際に自分の身体（眼や耳）で観察すること、その成果をことばにすることの重要性を実感した。この経験をもとに観察を重視したメディア利用の課題を設計し、受講者と取り組んでいる。
その他	受講者数にもよるが、創造的なメディア利用を探るために、実習的な課題にも取り組む予定。（ただしデッサンや特殊機器の操作能力等、特別な技能は必要とされない）。また課題の内容にしたがい講義時間外にもレポート作成や報告準備等に取り組む必要がある。